

# 久栄社 カーボンフットプリントへの カーボンオフセット 深化

株式会社久栄社(田島 平成21年度からは、同 久義社長、東京都中央 社田島社長が会長を務め 区)の千葉工場で印刷し る日本水なし印刷協会 た印刷物は、LCA(ラ で、清水印刷紙下(株)の清 イフサイクルアセスメン 水宏和社長の協力を得 て、より正確かつスピー ーにより提出されたCO<sub>2</sub> 排出量を測定できる。

## CO<sub>2</sub>を見える化して削減

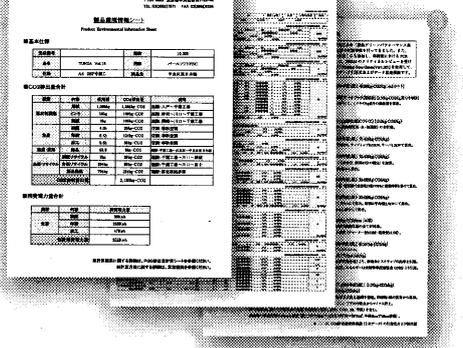
久栄社は平成20年度より、社団法人産業環境管理協会が行っている経済産業省からの受託事業「製品グリーンパフォー マンス高度化推進事業」に参加し、その指導のもと各工程別のCO<sub>2</sub>排出量の計測事業を行ってき た。また、日印産連カーボンフットプリント委員会にも参加し、印刷業におけるPCRの策定や運用に関わっている。

て算出。電力のCO<sub>2</sub>係数は日本LCAデータベースより引用(以下同)。印刷版印刷工程におけるCTP等の消費電力。印刷機および恒温装置の消費電力。消費電力は電力計での実測値平均より算出。準備時間は片面30分、両面45分と固定。印刷工程における用紙のCO<sub>2</sub>係数を引く。インキインキメーカーより提出されたCO<sub>2</sub>係数を引用。使用量は実測または想定値で算出。印刷版使用した水なGreen(以下PGO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。

係数を引用。使用量は実測または想定値で算出。印刷版使用した水なGreen(以下PGO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。

**「製品環境情報シート」の提出**

CO<sub>2</sub>を算出した印刷物は、納品後に下記の報告書を顧客あてに提出している。また、詳細な計算方法や算出根拠は久栄社ホームページ(www.kyueisha.co.jp)でも紹介している。



- 当該印刷物の仕様と段階別合計CO<sub>2</sub>排出量。
- 各プロセス別の詳しい計算式と算出結果。
- 2次データの引用先等、詳細な算定根拠。

排出量も加算する。トラックで千葉工場から納品サイトまでの距離をCO<sub>2</sub>係数に算出。CO<sub>2</sub>係数はプラスチック処理促進協会の報告書より引用。印刷用紙のCO<sub>2</sub>係数を引く。インキインキメーカーより提出されたCO<sub>2</sub>係数を引用。使用量は実測または想定値で算出。印刷版使用した水なGreen(以下PGO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。印刷版印刷工程におけるCO<sub>2</sub>係数は、刷版メーカーの提供データを引用。

久栄社

カーボンフットプリントへの深化

下

株式会社久栄社(田島区)はカーボンフットプリントとカーボンオフセットにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減に積極的に取り組んでいる。

株式会社久栄社(田島区)は、削減したCO<sub>2</sub>量を特定し、この「CER」を活用し、これを大気中CO<sub>2</sub>濃度の軽減効果として認められるもの。なかでも「CER」と呼ばれ、現在も信頼の高い排出権である。

確実なCO<sub>2</sub>削減を強みに

なり、印刷物のCO<sub>2</sub>排出量を適切な価格で相殺できる。日本水なし印刷協会との契約に従ってCOJは排出権を適切に調達・管理し、このオフセット以外の目的で再利用されることのないように「排出権の無効化手続き」を行う。無効化された排出権は日本の京都議定書での削減ノルマに反映される仕組みである。CO<sub>2</sub>排出権は、国内での排出権取引(国内クレジット制度)がまだ準備段階のため、購入した排出権はすべて海外投資となる。そこで、日本の資金を日本の環境改善に使用するため、久栄社では「グリーン電力証書」の元と「環境付加価値」

カーボンフットプリントはCO<sub>2</sub>排出源を見える化し、排出量の多い材料の仕様変更や、排出現場で排出量の多い製造工程などの見直しにより削減する。カーボンオフセットでは、全く異なる現場で削減した排出量をCO<sub>2</sub>排出権として購入し、相殺することによって削減する。

出削減事業(CDM)から発生する□kgのCO<sub>2</sub>はカーボン・オフセット・ジャパンを通じてオフセット(相殺)され、地球温暖化防止に貢献します。田島社長が会長を務める日本水なし印刷協会では、信頼の高いカーボンオフセットプロバイダである(社)日本カーボンオフセット(COJ)と契約

は、第三者機関である(社)日本エネルギー認証センターが認証として審査・監視し、認定・認証を行い、重複や不適切な使用を防ぐ仕組みを工夫している。久栄社ではカーボンフットプリントにカーボンオフセットや水なし印刷などの活動を結び付け、印刷会社による戦略的な環境サービスを推進していく。



は、第三者機関である(社)日本エネルギー認証センターが認証として審査・監視し、認定・認証を行い、重複や不適切な使用を防ぐ仕組みを工夫している。久栄社ではカーボンフットプリントにカーボンオフセットや水なし印刷などの活動を結び付け、印刷会社による戦略的な環境サービスを推進していく。